

病院の庭の金木犀の香りが漂い、秋の気配が深い今日この頃です。

一休通信も秋号になります。デイケアと地域の関わりや活動を知ってもらえればと、思います

今回は、地域で活躍されている、書道の講師からデイケアメンバーさんに頂いた「メッセージ」を一緒にご紹介させていただきます

書道の佐藤美代子講師からのメッセージ

「楽しかった」の言葉ささえられて（元北病院病棟看護師長）

私は船橋北病院開院時から今日まで、病院と関わってきました。書道は1病棟が開かれた直後から始めました。以後、色々な病棟に行って参りましたが、現在デイケア「一休」で月に2回書道指導を行っています。

書道を行う上で私が気を付けている事は、文字が上手に書けるように成る事だけでなく、書道を通じ集中する事で、ご自分と向き合う時間が持てる事や準備や片付けを通じて、皆と協力し、また作品感想会を通じて充実感を味わう事が出来、それが自信に繋がれば良いなと思っています。

何よりも嬉しいのはメンバーさんから「楽しかった」と云う言葉が聞かれ、又メンバーさんの表情が、生き生きと明るくなっている時です。

次回も頑張ろうと、逆に勇気を頂いています。これからもメンバーさんと楽しみながら、デイケアプログラムの一助となるように行っていきたいと思っています。

書道プログラム

書道のプログラムは、各自テーブルに準備を行い、講師に頂いた見本を置き、手本を教材にご自分のペースで取り組みます。お手本は季節に応じたものを考えて下さり、個々に筆あしらいや字の書き方を指導してもらいます。講師からのコメントでもあったように、字が上手に書けるようになるだけではなく、墨の良い香りを感じながら集中力が養え、充実感を味わうことができます。（毎月第2、4月曜日）

華道

華道は長年、当院のデイケアリぶれ（アルコールデイケア）と同日にご指導いただいています。講師からご指導頂いている流派は古流と言ひ、室町時代にその形態が整えられ、いけばなの起源となった手法と言われています。講師はメンバーさんにいつも「四季折々の季節を感じ、そして自分の気持ちでお花を楽しんで活けて下さいね」と話されています。（毎月第1、3月曜日）

茶道

茶道はデイケア一休開設時より今日まで続いている息の長いプログラムのひとつです。デイケアに和室があり、正規の茶道具で、掛け軸やお花を飾り、ふくさや茶巾の扱いを習い、盆点てで、お抹茶とお茶菓子を頂きます。講師のご指導は丁寧でとても分かりやすいです。茶道は風流で日本の雅を感じるプログラムです。（毎月第2、4水曜日）

今月は船橋市社会福祉協議会に所属されている地区ボランティアさん達をお招きし、リフレッシュ体操を行って頂く予定になっています。今後、より一層のコミュニティづくりなどの、活動を考えています。

尚、ご紹介致しました講師の皆様はボランティアとしてご協力して頂いております。